



な か は ら

学校教育目標：

心身ともに逞しく、主体的にねばり強く学び、思いやりのある児童の育成

文責 校長 池田 雄一郎

環境は人を育てる ~古さは汚さではない~

夏休みに入り、本校職員で毎朝、環境整備の時間を設け、校舎内外の清掃を行いました。中原小は創立148年、校舎も建て替えを繰り返し、古さも目立ってきました。そんな中、2学期を迎えるに当たって、子供たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、本校全職員で廊下や階段の清掃、廊下の中央線の塗り替え、各教室の整理など時間を決めて取り組みました。本校職員も暑い中ではありましたが、子供たちのため、中原小のために汗水垂らして頑張りました。

今までくすんでいた廊下が、再び輝きを取り戻し、なんだか明るい気持ちになりました。始業式で、変化を問うたところ、何かしらの変化に気づいた子供たちが多くいました。人という生き物は、環境的な要因に左右されやすく、良くも悪くも環境次第です。そして磨き上げることは新築にも勝ると考えています。

「2学期を迎えて」

2学期始業式より（令和5年8月28日（月））

38日間という夏休みが終わりました。1学期の終業式で「しっかり先のことを考えて行動し、命を守る」という約束をしました。この長い夏休み、大きな事故やけががなかったことは、本当にうれしく思います。みなさん、約束を守ってくれてありがとう。

また、中原小の田んぼにいるアイガモもずいぶん大きくなりました。餌をあげにいくと「ぐわっ、ぐわっ。」と言って私に寄ってきます。本当にかわいいものです。そのアイガモたちともいよいよお別れとなります。最後までしっかりお世話してください。

さて、いよいよ学校で一番長い2学期がスタートします。2学期は、運動会や犬童球溪顕彰音楽祭、集団宿泊教室、修学旅行などなどたくさんの楽しみな行事があります。また、学校以外の人と会うことも多くなりますし、おうちの方もみんなの学習の様子を見ることもたくさんあります。しっかり学んでいる姿を見せましょう。

そのために、今月も、校長先生からお願いがあります。それは、「全員、あいさつ、返事を大きな声で元気よくする。」ということです。先生、友達、地域の人、とにかく元気よくお願いします。

それでは、また、校長先生は、みんなが頑張っって勉強する姿を見に来ます。

6年生 学年キャンプ

7月29日～30日に6年生の学年キャンプがありました。コロナ禍でなかなかできなかった学年行事、ようやく実施することができました。保護者のみなさんも準備を重ねておられました。本当に子供たちにとって、思い出に残る素晴らしいキャンプだったように表情から感じられました。

段ボールで作った手作りベッド、涙を流しながらタマネギを切って作ったカレーライス、友達と話して眠った体育館、どれもこれも小学校時代の1ページに刻まれたのではないのでしょうか。そして、このように準備をしてくださった保護者のみなさんへの感謝の気持ちも持ってくれたと思います。

